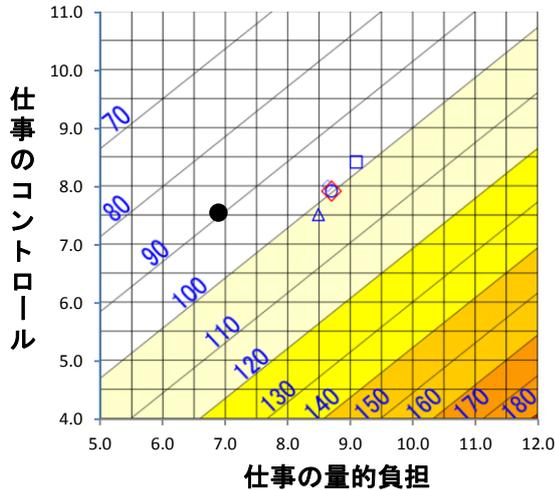


ウェルネット ストレスチェックキット

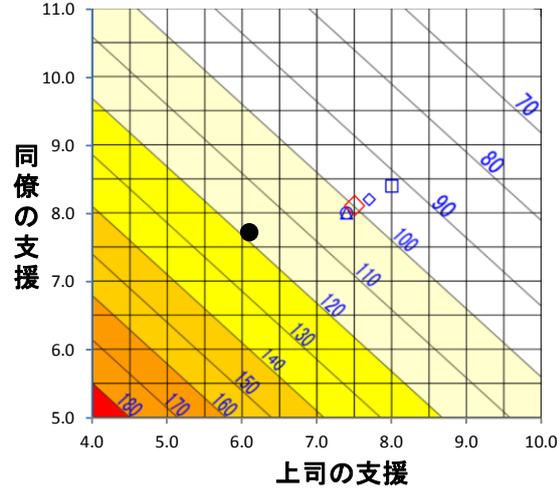
ストレスチェック集団レポート 作成日:2017年03月01日

実施期間	2017年度(2017年01月24日～2017年02月20日)					
事業場名	〇〇〇産業株式会社 本社事業場					
実施者	産業医 開発花子					
集団名	開発部					
人数	50名	男性	34名	女性	14名	* 性別未回答 2名

仕事の量的負担とコントロール



上司の支援と同僚の支援



● 本集団 全国の参考値(◇全国平均 □管理職 ○専門職 ◇事務職 △現業職)

尺度	平均点数	健康リスク(全国平均=100とした場合)	
量的負荷	6.9	量-コントロール判定図 (A)	総合健康リスク (A)×(B)/100 107
コントロール	7.6		
上司の支援	6.1	職場の支援判定図 (B)	
同僚の支援	7.7		

※ 例えば健康リスクが110であれば全国平均より健康問題が起きる可能性が10%増加していると推定できます。

各尺度の平均値の比較

	集団平均	男性平均	女性平均	事業者平均	事業者男性	事業者女性	全国男性	全国女性
量的負担	6.9	7.1	6.8	7.2	7.1	7.2	8.7	7.9
質的負担	6.9	6.9	6.9	7.5	7.0	7.8	8.6	8.0
身体負担	2.1	2.6	1.8	2.2	2.5	2.0	2.0	2.0
対人関係	5.3	5.0	5.5	6.0	5.7	6.2	6.3	6.3
職場環境	2.3	2.1	2.5	2.4	2.5	2.4	2.3	2.5
コントロール	7.6	6.9	7.9	7.3	7.1	7.4	7.9	7.2 *
技能活用	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.7 *
適性度	2.9	3.0	2.8	2.7	3.0	2.6	2.8	2.7 *
働き甲斐	2.9	2.8	2.9	2.7	2.7	2.8	2.8	2.6 *
活気	6.4	6.8	6.3	6.1	6.2	6.1	6.7	6.4 *
いらいら感	4.9	4.3	5.2	5.6	5.9	5.4	6.5	7.0
疲労感	5.0	4.2	5.4	5.9	5.5	6.1	6.5	7.1
不安感	4.4	4.3	4.5	5.1	5.4	5.0	6.2	6.2
抑うつ感	9.0	9.7	8.5	9.6	10.4	9.2	10.3	10.9
身体愁訴	16.8	15.7	17.3	18.5	18.6	18.5	18.2	20.8
上司支援	6.1	6.4	5.9	5.9	5.3	6.3	7.5	6.6 *
同僚支援	7.7	8.7	7.2	7.9	8.4	7.6	8.1	8.2 *
家族友人支援	9.5	10.3	9.1	9.7	10.0	9.6	9.9	10.3 *
満足度	5.8	6.3	5.6	5.8	6.0	5.7	5.7	5.5 *

※ *は点数が低いほどストレス状況が高い項目を示します。

※ 男性もしくは女性の人数が10人を下回る場合には、個人の特定を避けるため性別ごとの集計を出力しません。

ウェルネットストレスチェック 分析データサンプル

※実際にはexcelファイルをメール等にて提供します。

※ストレスチェック実施者、実施事務従事者等、制度上、個人の受検結果を閲覧できる方のみにお渡し致します。

No	記入日	部署	氏名	グループコード	グループ名	性別	生年月日	年齢	総合評価	相対評価	心理的な仕事の負担(量)	心理的な仕事の負担(質)	自覚的な身体的負担度	職場の対人関係上のストレス	職場環境によるストレス	仕事の裁量度	技能の活用度	自覚的な仕事の適性度	働きがい	仕事のストレス要因(9尺度)合計
1	2014/5/6	営業部	ジョウホウタロウ	1	営業系	1	1981/9/2	34	A	**	1	1	1	2	2	2	3	1	2	15
2	2014/5/6	営業部	カイハツ イチロウ	1	営業系	1	1970/5/1	45	A	*	1	1	3	2	2	2	2	2	5	20
3	2014/5/6	営業部	キバン サブロウ	1	営業系	1	1960/3/3	55	B		3	2	2	2	2	4	2	3	3	23
4	2014/5/6	開発部	ホンゴウ タカシ	2	技術系	1	1988/10/5	27	B	*	3	2	3	2	2	3	3	2	2	22
5	2014/5/6	開発部	コマバ チカコ	2	技術系	2	1991/6/30	24	C		5	5	4	2	4	4	4	3	5	36
6	2014/5/7	開発部	カシワ ツネオ	2	技術系	1	1965/3/20	50	C		3	4	3	4	3	5	2	2	4	30
7	2014/5/7	開発部	サガミ テツヤ	2	技術系	1	1970/5/15	45	C		2	3	4	2	4	4	3	3	4	29
8	2014/5/7	総務部	ユシマ ハナコ	3	事務系	2	1987/9/27	28	C		5	2	2	5	5	2	2	4	4	31
9	2014/5/7	総務部	カスガ ヒロシ	3	事務系	1	1985/2/14	30	C		2	4	4	4	5	3	1	2	4	29
10	2014/5/7	総務部	ハクサン フミコ	3	事務系	2	1976/12/15	39	B		4	2	2	2	1	5	1	2	4	23

全国平均から求めた総合評価と、事業場内の割合から求めた相対評価

高ストレス度合い	総合評価	相対評価
上位10%以内	A	**
上位10%-30%以内	B	*
それ以下	C	

活気	イライラ感	疲労感	不安感	抑うつ感	身体愁訴	心身のストレス反応(6尺度)合計	上司からの支援度	同僚からの支援度	家族や友人からの支援度	仕事や生活の満足度	周囲のサポート(4尺度)合計
1	1	1	2	1	1	7	1	1	5	1	8
1	1	3	2	2	2	11	2	2	3	3	10
3	3	3	3	3	3	18	4	3	3	3	13
1	3	2	2	3	2	13	1	2	3	1	7
5	3	3	3	3	4	21	5	5	4	3	17
4	3	5	2	3	5	22	5	4	4	3	16
3	5	3	1	3	3	18	3	3	3	3	12
4	2	5	3	4	3	21	4	2	3	2	11
3	5	5	5	5	5	28	2	1	2	4	9
1	4	1	4	2	3	15	2	5	2	3	12

各チェック項目を厚生労働省が提示する素点換算表に従って換算したもので、1が高ストレス、5が低ストレス。

厚生労働省の指針では、
① 心身のストレス反応が高いもの
② 心身のストレス反応が一定以上で、仕事のストレス要因と周囲のサポートが高いもの
①②のいずれかに該当するものを高ストレス者として選定することとしています。概ね全体の10%程度が高ストレス者となるような基準を設定することが目安として示されております。

ウェルネットストレスチェックでは、全国平均より求めた総合評価と、事業場内の相対評価で、それぞれ10%・30%を評価基準として3段階で定めており、面接指導の対象を双方の評価をあわせて実施者にご判断いただける仕組みとしています。